

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年12月15日(2022.12.15)

【公開番号】特開2022-130620(P2022-130620A)

【公開日】令和4年9月6日(2022.9.6)

【年通号数】公開公報(特許)2022-164

【出願番号】特願2022-105395(P2022-105395)

【国際特許分類】

A 63 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 5/04 611 B

A 63 F 5/04 605 B

A 63 F 5/04 691 B

【手続補正書】

【提出日】令和4年12月7日(2022.12.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

貸出ユニットと通信可能なスロットマシンであって、

リールと、

ストップボタンと、を備え、

前記貸出ユニットから送信される貸出点数に関する情報を受信可能に構成され、

特定期間毎に第1の通番と遊技状態に関する情報を含んだホールコン・不正監視情報を前記貸出ユニットへ送信可能に構成され、

計数点数に関する情報と計数点数を累積した点数である計数累積点数に関する情報と第2の通番とを含んだ計数通知情報を前記貸出ユニットへ送信可能に構成され、

電源投入後、最初に計数通知情報を前記貸出ユニットへ送信するときの第2の通番は「0」であり、その後の計数通知情報に含まれる第2の通番は「1」から「M (Mは数値)」の範囲内の値となるように構成され、

貸出点数に関する情報を受信してから前記特定期間よりも短い期間が経過したタイミングであり、且つ、ホールコン・不正監視情報の送信タイミングとは異なるタイミングであり、且つ、計数通知情報を前記貸出ユニットに送信するタイミングとは異なるタイミングで、貸出点数に関する情報の応答情報を前記貸出ユニットへ送信可能に構成されることを特徴とするスロットマシン。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本態様に係る遊技機は、

貸出ユニットと通信可能なスロットマシンであって、

リールと、

ストップボタンと、を備え、

40

50

前記貸出ユニットから送信される貸出点数に関する情報を受信可能に構成され、  
特定期間毎に第1の通番と遊技状態に関する情報を含んだホールコン・不正監視情報を  
前記貸出ユニットへ送信可能に構成され、  
計数点数に関する情報と計数点数を累積した点数である計数累積点数に関する情報と第2  
の通番とを含んだ計数通知情報を前記貸出ユニットへ送信可能に構成され、  
電源投入後、最初に計数通知情報を前記貸出ユニットへ送信するときの第2の通番は「0  
」であり、その後の計数通知情報に含まれる第2の通番は「1」から「M (Mは数値)」  
の範囲内の値となるように構成され、  
貸出点数に関する情報を受信してから前記特定期間よりも短い期間が経過したタイミング  
であり、且つ、ホールコン・不正監視情報の送信タイミングとは異なるタイミングであり  
、且つ、計数通知情報を前記貸出ユニットに送信するタイミングとは異なるタイミングで  
、貸出点数に関する情報の応答情報を前記貸出ユニットへ送信可能に構成される  
ことを特徴とするスロットマシンである。

10

20

30

40

50